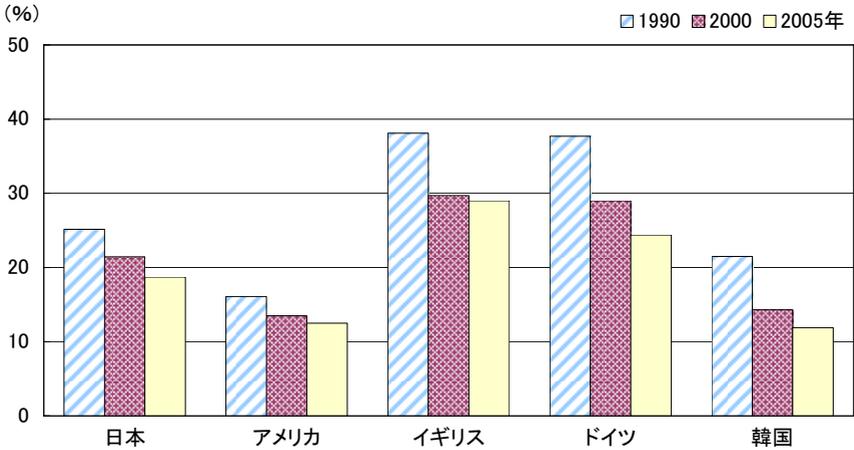


7-1 労働組合組織率の推移



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第7-1表 労働組員数・組織率（各国公式統計）」(p.217)を参照。

2005年における主要国の労働組合組織率を比較すると、イギリスが29.0%と最も高く、ドイツ（24.4%）、日本（18.7%）、アメリカ（12.5%）などの順となっている。

また、1990年から2005年までの15年間の変化をみると、いずれの国でも組織率は低下傾向にある。